

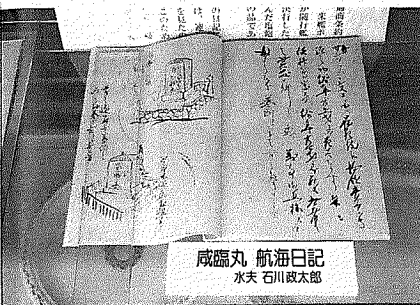
本島港

咸臨丸で マチ起こし

2

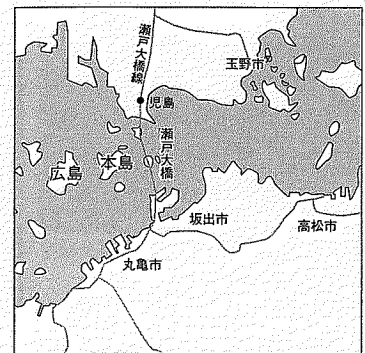
しわく ほんじま 塩飽諸島・本島 (香川県丸亀市)

咸臨丸の乗組員を数多く輩出した塩飽諸島——。その中心である本島では今年11月まで咸臨丸をテーマにしたさまざまなイベントが開催されます。周囲16キロの風光明媚な島の見どころとともにご案内します。



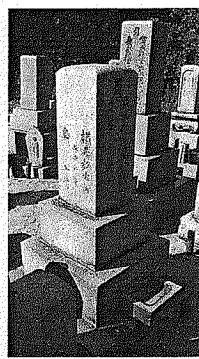
勤番所に展示されている本島出身の咸臨丸乗組員・石川政太郎の航海日誌

● 塩飽勤番所
人名と呼ばれた船方衆650人が治めていた塩飽諸の島々。その代表「年寄」が政務を執った場所がこの塩飽勤番所。現在の建物は昭和52年に復元されたもの。信長、秀吉、家康からの朱印状や咸臨丸乗組員の遺品などを展示している。月曜休。開館時間9時～16時。入館料大人200円。本島港から徒歩5分。☎0877・27・3540



本島の見どころ

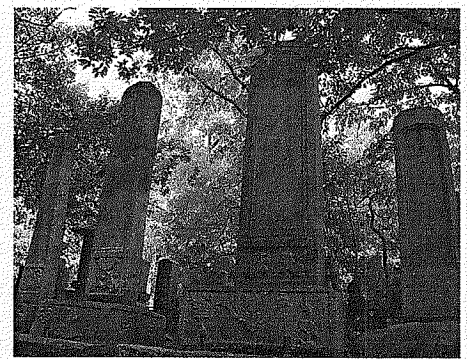
● 笠島まち並保存地区
笠島は咸臨丸乗組員を3人輩出した集落で、江戸時代から戦前にかけての家屋100棟あまりが残り、往時の雰囲気伝える。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。本島港から徒歩20分。



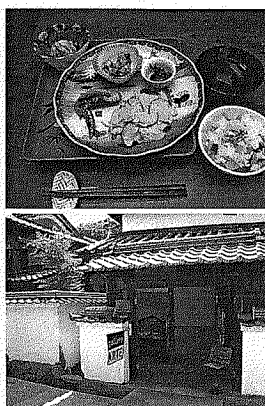
本島港近くにある横井松太郎の墓

● 咸臨丸乗組員の墓所
塩飽各地にあるが、わかりにくいので地元の人に尋ねるのがよい。

● 人名の墓所
泊地区(咸臨丸乗組員を最多の5人輩出した集落)の本島中学校近くや笠島の専称寺にある。

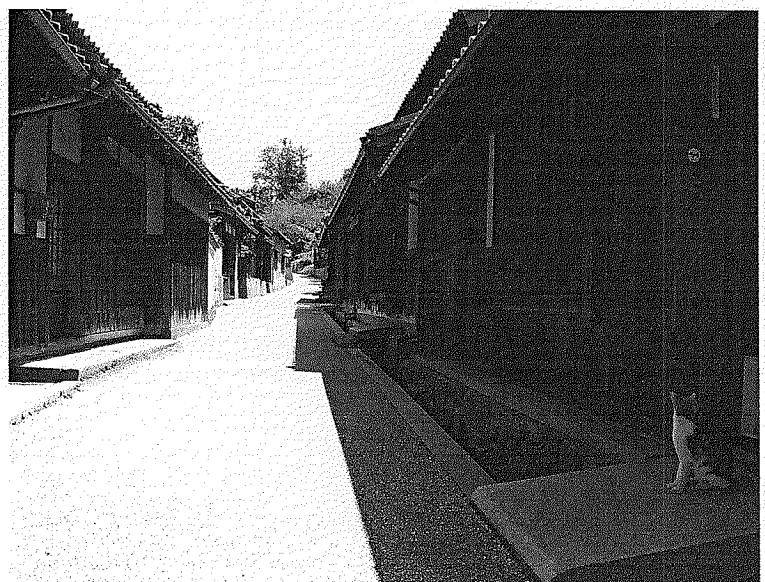


専称寺にある年寄・吉田彦右衛門の墓(国指定重要文化財)



ギャラリーアルテと絶品ランチ

● ギャラリーアルテ
咸臨丸乗組員・高島清蔵の生家の跡に建つ古民家に開店したおしゃれなカフェ。咸臨丸ランチは予約制だが、日替わりランチも逸品。月火曜休。営業時間 水曜11時30分～18時、木～日曜10時～19時。☎0877・57・8255



風情ある笠島の街並み

●千歳座

文久2年
(1862)

に建てられた回り舞台などを備えた芝居小屋。「幕府の禁制を免れるため、神社



境内が客席になるという千歳座

の道具納屋という名目で建築」と説明板にあった。市指定重要文化財。ほかに笠島に尾上座が昭和45年まで現存した。江戸時代当時、海運で島がいかに栄えていたかを語る。木鳥神社境内。本島港から徒歩5分。

●寺院と文化財

本島には30点以上の重要文化財(国・県・市)が存在し、それらを蔵する神社仏閣も多い。これらも往時の海運の隆盛と船方の信仰心を伝えるものとなっている。

●瀬戸大橋

塩飽諸島は瀬戸大橋の橋頭堡でもある。本島からはその雄大な姿が眺められ、児島観光港からの船便は橋をくぐるコースをとる。

◆咸臨丸関係以外のイベント

「塩飽本島」晴れに耕す。そしてアート展

10月10日～11月28日

笠島の伝統的建造物保存地区内。美術作家、日本画家、現代美術家の3人が本島に滞在して制作した作品展。問い合わせはギャラリーアルテ

☎0877・57・8255

■本島全般の問い合わせ

本島市民センター

☎0877・27・3222

本島パークセンター

☎0877・27・3077

本島から望む瀬戸大橋

咸臨丸渡米150周年記念事業in本島

【展示】

咸臨丸関連展示メイン会場 塩飽勤番所(入館料200円、月曜休)
10月1日～11月30日
サブ会場 本島観光案内所(無休) 9月1日～11月30日
本島文化祭共催会場 本島市民センター 10月30日、31日

【講演会】(予約不要、無料)

咸臨丸と塩飽
10月24日(日) 10:30 入江幸一氏(郷土史家) 塩飽勤番所
貝との会(貝)話
10月30日(土) 13:00 本城凡夫氏(香川大学) 本島中学校
子孫から見た咸臨丸の歴史
11月23日(火祝) 15:00 小杉伸一氏(咸臨丸子孫の会) 本島小学校

【史跡探訪】(当日申込、無料)

本島ウォーキング(笠島ふれあい祭り共催)
11月23日(火祝) 8:00 丸亀港本島行きのかば集合

【顕彰碑建立】

除幕式 10月24日(日) 9:00 本島港

【食】

咸臨丸ランチ(2日前までに予約)
乗組員がサンフランシスコのホテルで食べたランチをアレンジ(1000円)
ギャラリーアルテ ☎0877-57-8255
咸臨丸懐石(5人以上は予約)
咸臨丸艦内での立食をアレンジ(980円) 瀬戸香苑 ☎0877-57-8226

問い合わせ 本島市民センター ☎0877-27-3222

★本島への船便

丸亀港～本島港に1日8往復

(本島汽船 ☎0877-22-2782)

児島観光港～本島港に1日4往復

(六口丸海運 ☎086-474-6199)



丸亀と本島を結ぶフェリー「ほんじま丸」(上)と旅客船「ブルーオーシャン」(下)



児島観光港と本島を結ぶ「ムクジマルホープ」